

◆ 会員紹介 30 NPO法人 州都広島を実現する会 ～ コンサルティング能力を全開 ～

●本日 6/30 の新聞記事を読みましたか

当地を代表する中国新聞第一面に、「東京と地方の格差、今後も縮小せず 8割」の衝撃タイトルに、大変ショックを受けている。これは全国 47 の「地域シンクタンク」への調査結果である。

文面には「政府は地方創生を掲げているが、人口流出に歯止めがかからず、地方は人手不足と消費低迷に直面」と述べ、この格差は「今後も一段と拡大」と報じている。地方に拠点を置く NPO として、これはゆゆしき事態であり、私は「政府の地方創生とは一体何なのか！」と、強い怒りを覚える次第である。

●ここから本題の活動紹介です

さて、気を取り戻して、NPO 法人「州都広島を実現する会」の紹介と最近の活動状況を伝えたい。

本会は、「広島地域づくりを支援してゆく活動」を実施している。一言で説明するのは難しいが、主として「地域政策」や「街づくり」に向けて、地元の行政や議会、大学、経済界、マスコミ、一般市民へのアボドカシー（政策提言）やロビーイング（広報活動）を繰り返している団体である。それでは、今年の主な実績を 4 件紹介しておこう。



①「地方創生 & 福祉政策 in 広島」の開催 このテーマで 1 月にイベントを実施した。これは、超高齢化に伴う首都圏の団塊世代が 75 歳を迎える「2025 年問題」を問うものである。日本版 CCRC 構想のキーマン＝河合雅司氏を呼んで 150 名のシンポを開催し、高齢難民の受け入れ問題などを議論した。

②広島メッセ・コンベンション機能を提言 3 月の広島市の定例議会への「政策支援活動」である。サッカー場移転問題に地元の話が集中する中、本会が主張する「メッセコン機能」の重要性を訴えるため、議会へのスピーチ原稿やパワポの提供を行った。

③「東区ニュース」発行の支援 本会の代表は東区選出の議員なので、区民の声をよく聞き、議会報告などを配信している。本会は 4 月に、広報活動の手伝いとして、地域の代表者 10 名を集め、その司会役や広報の編集（5 万部印刷の手配）などを担った。

④「広島 21 ウェルフェア創生会議」の開催 昨年末から 3 回目を迎える会議だが、この地域の福祉関係者、不動産業者、議員、マスコミなど総勢 40 名からなる。今月には広島市の高齢福祉課長を迎えて、「市の高齢福祉の現状と将来」について話題提供を頂き、意見交換を実施する予定である。

●最後にひとこと

本会は、複数の会議体を企画し、その事務局を担っている。また同時に、本会は他の関連団体への主体的な参加も 10 余りに及ぶ。私の名刺の裏面にあるのがそれで、我が CNCP もその一つである。

事務局が広島市役所前なので、日常的に役所の幹部や議員の出入りが多く、本会は、「建設系 NPO」ではないように思われるかも知れないが、これは重大な誤解である。私は本会を、「自分のコンサルティング能力を 100% 発揮できる場面」と捉えており、今後も事務局として頑張っていきたい。



NPO法人 州都広島を実現する会

代表；碓井法明、事務局長；野村吉春
(ホームページ <http://shuto-h.com/>)